

令和7年度 園経営計画 足立区立上沼田保育園

園長 梶原 里美

1 園の経営目標

- (1) 子どもの最善の利益を尊重し、生活や遊びの体験を通して「生きる力」の基礎を育む。
- (2) 職員は、子ども一人一人に豊かな愛情と保育に情熱をもち、自己研鑽を積み重ね資質向上に努める。
- (3) 保護者との信頼関係を大切にして、ともに「育ち合う」「育て合う」関係を築く
- (4) 地域の子育て支援の拠点となり、私立園や子育て家庭の支援をする。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは絵本が好きで、自分で好きな本を選び読んでもらったり、絵本のイメージを膨らませて遊びに取り入れたりして楽しんでいる。また、保護者も親子図書館を楽しみにしたり、保育参加で読み聞かせをしたりし、絵本への関心が高まってきている。
- (2) 大きいクラスの子どもの姿に憧れの気持ちをもち、真似をして新たな遊びに主体的に挑戦したり、できるようになりたいとあきらめずに取り組んだりする姿が見られている。
- (3) 職員は、子どもの育ちを保護者と共有し、家庭の状況に合わせた子育て支援を行っている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1	子どもが夢中になって遊べる環境をつくる
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 自ら環境に関わり主体的に遊べる環境を作る	ア 子ども自ら考え・工夫し遊べるよう、組み合わせで遊べる遊具を取り入れる。 イ 子どもの姿に合わせ、環境の再構成をする。(年4回)
(2) 体を動かして遊びたくなる環境をつくる	ア やってみたいという思いを引き出す遊びの環境を作り、体のバランスをとる動き・移動する動き・物を操作する動きが経験できるようにする。
重点的に取り組んでいきたい事項－2	親子で絵本に親しめるようにする
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 絵本に親しみ知的な好奇心が高まる環境を作る	ア ミニブックトークを取り入れ、絵本への関心を高める。 イ 様々なジャンルの絵本を取り入れ興味の幅を広げる。
(2) 親子で絵本を楽しめる機会を増やす	ア 親子で利用できる図書館の取り組みを継続する。利用がより楽しくなるよう、くつろげる環境づくりや、思わず手にとりたくなるような展示の工夫をする。 イ 保護者に保育参加での読み聞かせを依頼する。
重点的に取り組んでいきたい事項－3	子ども理解を深め、保育の質を高める
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもの思いや考えを受け止め、良さや可能性を多角的に見る	ア 他の保育者と日常的に子どもの姿について語り合い、子どもの発達や行動の意味を考え、子ども理解を深める。 イ 保護者に園での子どもの姿を伝えたり、家庭での様子を聞いたりし、信頼関係を深める。
(2) 保育者同士が互いに高め合える職場環境を作る	ア 保育を見合ったり園内研修に取り組んだりし、保育を振り返り、異なる視点や考えに触れ互いに学ぶ姿勢を持つ。